

医学系研究に関する情報の公開について

研究機関名*	独立行政法人労働者健康安全機構 大阪労災病院
研究課題名*	パルスフィールドアブレーションデバイスにおけるシース弁機能の評価
所属科*	循環器内科
研究責任者*	松永泰治
研究実施期間	開始 西暦 2025年 2月 1日 ~ 終了 西暦 2027年 1月 31日 (予定)
対象疾患 (予定症例数)	パルスフィールドアブレーションを行う際に水封法を行った症例 (50 症例)
研究対象となる治療・手術・検査の時期	自 西暦 2025年 2月 1日 ~ 至 西暦 2025年 7月 31日
研究概要*	近年増加するパルスフィールドアブレーションは今までの心房細動カテーテルアブレーションで問題であった肺静脈狭窄、食道関連合併症、横隔神経麻痺を減少するとされ安全性が高いと考えられる。しかし、ラジオ波焼灼システムに比べシースが大きくなることで、シース弁解放からの空気塞栓が懸念される。水封法（カテーテル挿入を水中で行うこと）は空気塞栓予防法として注目される。水封法の際に弁から血液逆流を認めることがあり弁機能を反映していると考えられ、各デバイス間で下がるかどうかを検討する。
倫理的配慮・個人情報の保護の方法について*	連結可能匿名化を行う。対応表はそれぞれの部署（施設・研究室）で厳重に保管する。本研究で得られたデータを当院外へ提供する際には対応表は提供せず、連結可能匿名化されたデータのみを提供する。学会や論文等で研究成果を発表する場合も、個人を特定できる情報を明らかにすることは決して行わない。
研究の問い合わせ先*	循環器内科 副部長 松永泰治

* 記入必須項目